

情報公開文書書式

研究課題名	回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者のサルコペニア改善とADL帰結および自宅復帰との関連
所属部署	長崎リハビリテーション病院 臨床部
研究責任者(職名)	松下 武矢
研究期間	承認日～2021年3月31日
研究目的と意義	加齢や疾患により筋肉量が減少することで、握力が低下したり、歩くスピードが遅くなるなど、筋力低下や身体機能の低下が起こることをサルコペニアといいます。回復期リハビリテーション病棟に入院する脳卒中の患者様の約半数にサルコペニアを認めます。サルコペニアの併存は患者さんの回復に影響を与える可能性があります。しかし、入院中のサルコペニアの改善が日常生活活動や自宅復帰にどのように影響を及ぼすかについては明らかにされていません。脳卒中の患者様のサルコペニアに対して適切に評価介入するために、上記を明らかにすることを目的とします。
研究内容	<p>●対象となる患者様</p> <p>2017年1月～2020年2月に、当院に脳卒中と診断されて入院かつ退院された患者様。</p>
	<p>●利用する情報</p> <p>身長・体重・年齢・性別・入院期間などのカルテ情報を利用します。 ※本研究で利用する情報について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。</p>
	<p>●研究方法</p> <p>上記情報を電子カルテより収集し、個人が特定できないように匿名化したのちサルコペニアの改善の有無と、日常生活活動および自宅復帰との関連について解析します。</p>
問い合わせ先	<p>所属：一般社団法人是真会 臨床研究開発部（PACS）西岡・高橋</p> <p>住所：長崎市銀屋町4-11</p> <p>電話：095（818）2002</p> <p>受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>